

2024年7月12日 下記「大人も FRIDAY for FUTURE」

## 伊藤忠ビル前の路上集会で、糸長主張のプラカード文字と説明

大澤暁さんが呼びかけた路上集会 下記は彼のメッセージより添付

先日神宮外苑再開発に関する声明を発した伊藤忠商事前で、明日アクションを行います。大きなテーマは「気候変動から神宮外苑再開発を考える」で、伊藤忠商事の声明に対して触れていきます。東北大学の明日香壽川先生が参加予定です。

「大人も Fridays For Future (未来のための金曜日)」というのは、若者の世界的なムーブメント「Fridays For Future」を大人もやりましょうという呼びかけです。大人はシゴトの忙しさに流されて、気候変動、環境問題、将来の地球のことなど、本来シゴト(=経済)よりも優先して考えて行動すべきことが、おろそかになりがちなので、月に1度くらい仕事を休んで、環境について考えたり、行動したりしませんか、という趣旨です。急な呼びかけですが、よろしくお願いいたします。

以下の4枚のプラカード路地は糸長が掲示して訴えたものです。



伊藤忠さん

社訓を守りましょう。  
売り手よし買い手よし  
世間よし

伊藤忠商事の創業者、伊藤忠兵衛さんは、近江商人であり、伝統的な商売人の信念としての「売り手よし、買い手よし、世間よし」を座右の銘としていた。伊藤忠の社訓もこれにつきます。

しかるに、現在計画中の神宮外苑地区再開発は都民の6~7割は疑問視・反対をしています。世間が認めていない、納得していな商売、伝統的な社訓に逆らう商売をしてはいけません。忠兵衛さんが泣いています。

伊藤忠さん

このビル、  
まだ50年使えます。  
ビルが泣いています。

伊藤忠さんは、7月3日の公開文章で、「築43年を経過し老朽化が始まりつつある」とこの本社ビルの建て替えを正当化していますが、この立派な建物は、後50年は持ちます。日本を代表する設計事務所と建設会社が建設しました。私の所属する日本建築学会は長年100年建築、超寿命建築を宣言しています。それに先駆けた立派な建物です。是非、後50年以上使い続けて、SDGsの見本の建物にしてください。伊藤忠商事の100%子会社の伊藤忠アーバンコミュ

伊藤忠アーバンコミュニティ(株)

商品:100年マンション化

大規模修繕推進

本社ビル

100年修繕推進しましょう

伊藤忠新ビルの建設時

CO2 排出量

**21.3 万トン**

吸収には

東京の森林面積の **3 割** 必要

ニティ（株）の HP では、商品として「100 年マンション化」のキャッチフレーズで、マンションの大規模修繕による超寿命化戦略を進めています。非常に良いことです。ストックの保全・修復・持続的活用は、SDGs にも通じます。

この精神を大切にして、本社ビルの「100 年継続活用」、大規模修繕による超寿命化の模範を示してください。

伊藤忠の計画している新ビルの延べ床面積は、**21.3 万 m<sup>2</sup>** です。この面積は、神宮外苑地区再開発事業での計画床面積の約 38%で膨大です。建設時に排出する CO<sub>2</sub> 量は単純計算で **21.3 万トン**になります。この CO<sub>2</sub> を森林が 1 年で吸収すると仮定すると、東京都の森林面積の約 3 割の面積が必要です。さらに、現在の建物の延べ床面積は 11.3 万 m<sup>2</sup> です。これを解体する時も多くの CO<sub>2</sub> が排出されます。2030 年までに CO<sub>2</sub> 排出量を半減すべきことに逆行します。

以上の内容のプラカードを提示して、伊藤忠の皆さん、通行人の人たちに訴えました。